

選択フランス語B		講義	教授 加藤 芳孝	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目, スポーツトレーナーコースの必修科目 柔道整復師コースの教養選択科目	科目ナンバリング	11110206 12210208	

1. 授業のねらい・概要

本科目は前期の『選択フランス語A』の履修者を対象に、学んだ基本的な日常会話や表現を復習、再確認することと併せて、相手に応じた異なる言い方や状況に則した幅広い表現ができるよう、語彙を増やし修辞技法を会得することをねらいとします。一方、読む力、書く力を身につけ発展させるため、基礎文法も体系的に学習します。

2. 授業の進め方

様々なシチュエーションを想定して、自分自身に置き換えた言葉やいくつかの異なる表現を反復して習得します。語彙や表現方法を豊かにし、動作も含めた実践的で相手に通じるフランス語習得を目指します。学習方法：テキストを活用した聞き取り、会話練習の他、音楽や映画などの視聴覚教材を使ってリスニング力、表現力を強化します。

3. 授業計画

1. 前期の復習	16. 時刻の表現と使用する前置詞
2. 「今日は何着てるの?」、「それ似合ってるよ」	17. 日常生活に関する動詞と表現
3. 洋服に関する語彙, 色の表現, 比較する	18. 文法: 二通りの時刻表現, 代名動詞の活用
4. 「いい天気ですね」, 気候に関する表現	19. 「～知っている?」、「どうして?」
5. 文法: 比較級, 指示形容詞, 非人称構文	20. 「仕事楽しい?」、「まあまあね」
6. 「サッカーするの?」、「時々ね」, 頻度の副詞	21. ある人について情報を得る聞き方, アルバイトについて話す
7. 「朝ごはんは何食べるの?」、「カフェオレだけ」	22. 文法: 目的語人称代名詞, 疑問詞 (3), 不規則動詞の活用—connaître (知っている) と voir (見える)
8. スポーツをする表現, 楽器を演奏する表現	23. 「お決まりになりましたか?」、「ボナペティ!」
9. 文法: 部分冠詞, 中性代名詞, si と non, 動詞 prendre (取る) と faire (する) の活用	24. 「お味はいかがですか?」、「どってもおいしいです」
10. 「お昼行かない?」、「お腹すいた」	25. フランスの食事の流れについて, メニューの見方, 注文の仕方
11. 「通勤時間どれくらい?」、「だいたい 30 分かな」	26. 料理の感想について述べる
12. 曜日に関する語彙, 場所を示す前置詞	27. 文法: 複合過去 (1), 半過去
13. 誘い方, 乗り物に関する語彙と時間	28. 「昨日何してたの?」、「大学に行ったよ」
14. 文法: 不規則動詞の活用—aller (行く), venir (来る), mettre (置く), vouloir (したい), pouvoir (できる), 縮約 (2), 中性代名詞 y, 疑問詞 (2)	29. 文法: 複合過去 (2), 主語代名詞 on
15. 「たいてい朝 7 時に起きて, 8 時に家を出ます」	30. 1～3月のフランス, ある一日の行動を話す

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前にテキストのレッスン該当箇所を自習用オンラインビデオで最低3回視聴しておくこと (必要時間 10 分程度)。授業後はオンラインビデオを使って、習った会話表現を次回の授業まで毎日最低5回繰り返すこと (必要時間 15 分程度/日)。初心者にとって短い時間 (10～15 分/日) でも“毎日”フランス語に接することが確実な習得につながります。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

試験実施後、授業内ないしはオンラインにて、回答、解説、講評をフィードバックします。

6. 授業における学修の到達目標

相手や状況に応じた多様な会話表現を身につけることで、相手と対等な立場に立ってフランス語で意思疎通が図れるようにします。

到達目標: 1. 基本文法の習得 2. 多様な日常会話の習得, 実践 3. フランス語で自分の意見を述べる

7. 成績評価の方法・基準

授業への取り組み姿勢（60%）、期末試験（40%）に基づいて評価します。

8. テキスト・参考文献

テキスト：ニコラ・ガイヤール他著『新装カフェ・フランセ Nouveau Café Français』（朝日出版社 2022）

9. 受講上の留意事項

『選択フランス語A』で学んだ基礎を確認しながら、更に豊かな表現に発展させていきますので、生きたフランス語に触れる機会となります。授業出席と復習が肝要です。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本授業は、金融機関、サービス業界における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。